



**第80号**

2019. 1. 28

(公社)津法人会 青年部会

津市広明町121番地

津税理士会館4階

TEL(059)225-1302

<http://www1.mint.or.jp/~hojinkai/seinenbu/>

## 提 言

# 日本経済を考える。

日本経済はリーマンショックが起きてから、不況・不安がいまだ続いています。平成29年度からわが国経済は、マイナス金利導入や、円高の影響で上半期には金利機関や輸出型企業を中心に厳しい展開となりましたがアメリカの影響で少しずつ円安に振れ始めたため輸出型企業、設備投資がも直し経済は緩やかな回復基調をたどりました。また国際面では、北朝鮮問題や近隣国との国際情勢の不安がクローズアップされました。国内面では引き続き、東京オリンピック開催に伴う大規模な建設関係の動きが人手不足を地域経済にもたらす影響などのほか少子高齢化、平成31年10月から消費税が8%から10%に上がる影響・反動など不安定要素をかかえた状況です。現状からすれば、少なくとも日本経済は上向きにあるが、いまだに大企業を中心とする企業だけが影響を受けていま

す。三重県の現状は、今年三重県で行われたインターハイ、平成33年開催の国体などにいかしていくとの前向きな経済効果が期待されています。こんな時代だからこそ、我々商売人は常にお客様のニーズに敏感に対応し痒い所に手が届くそんな存在であり続けなければなりません。「順境には節度を逆境には勇気を」この逆境の中、勇気を持って進み追い風にしたいと思います。





## 第32回 全国青年の集い 部会長サミットについて

11月9日（金）岐阜グランドホテルにて部会長サミットが行われました。今年度は「医療費の適正化と健康経営への試み」と題した基調講演から始まりました。

健康経営とは、従業員の健康保持・増進に取組むことにより、生産性の向上や組織の活性化つながるというものでした。これに各企業が取組むことによって、自社の収益性の向上だけでなく、日本の医療費も抑制されていくのではないかと話し合いました。今まで自分が持っていた健康投資という考え方を知ることが出来、学ぶことの多いサミットでした。

### 大会に参加して

11月8日から2日間に亘り行われた「第32回 法人会 全国青年の集い」に参加しました。今年は「岐阜大会」ということで、長良川を臨む長良川国際会議場をメイン会場に盛大に開催されました。1日目は「租税教育活動プレゼンテーション」と「部会長ウェルカムパーティー」が行われ、2日目には「部会長サミット」「大会式典」「記念講演」「大懇親会」と盛りだくさんの内容でした。特に「租税教育活動」については、地域や子供たちに対して発信の仕方が随分と変化してきた印象を持ちました。地域を巻き込みながら、子供たちにより興味を持たせるという事は大変難しいことではありますが、取り組む価値は高いものと考えますので、今後に活かすことができればと思います。また、両日の夜には津法人会青年部会の懇親

会も催しました。今大会では同じ東海地区内での開催で、「いつでもいけるかな」という理由であつたかどうかは定かではありませんが、比較的控えめな人数での参加となりました。しかし、津法人会青年部会がお得意の懇親会では、OBの方々にも合流いただきながら大いに盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。いつものメンバーではあるものの、地元を離れ、その地のものを味わいながら酒と会話を楽しめるのは何事にも代えがたい喜びです。今後も特に懇親会には力を入れて行かなければならぬことも再認識しました。帰り道では電車利用組が逆方向へ行ってしまうというまさかのアクシデントもあったようですが、今回も有意義で楽しい全国大会となりました。次回もより多くの仲間で参加できればと思います。



# 9月例会

## 『税の話あれこれ』

日時：平成30年9月12日(水) 18:30~20:30 場所：東洋軒

**講 師 津税務署 署長 中村 佳示 氏**

本年度9月例会では、津税務署長 中村佳示様を講師にお迎えし「税の話あれこれ」という題目でご講演頂きました。

ご講演の中でもまず始めにご自信のこれまでの経歴をご紹介していただき、署長が地元三重鈴鹿市のご出身でモータースポーツF1が大変お好きというお話ではじまり、昨年には娘さんの招待でシンガポールにまで観戦に行かれたことを笑いあり、涙ありでとても楽しくお話を頂きました。

そして「税の話あれこれ」という本講演では、もうすぐ東京オリンピックということでオリンピックと税金についてお話をされ、金メダルの報奨金にかかる税金の計算方法や、GDPの高さがメダル

獲得の確立を高めていることなどもご紹介していました。

また、津市や三重県のふるさと納税の現状を各自治体の財源流出額の表をみせていただき、ふるさと納税について現状や問題点を学びました。

最後に人口知能AIが社会に普及していくなかで「ヒト」がもつ浪漫や目標を大切にし、「高い志」をもってください。とエールを頂戴しました。

ご講演終了後には、中村署長はじめ筆頭副署長の小池一彰様、法人課税第一部門 統括国税調査官 玉津明洋様を囲みながら、会員相互の交流を図り、有意義な時間を過ごしました。

# 12月例会

## 『忘年会』

日時：平成30年12月18日(火) 18:30~ 場所：高田会館 大ホール

12月例会「忘年会」が12月18日（火）高田会館にて盛大に開催されました。

ご厚志を賜りました会員様には厚く御礼申し上げます。

まずははじめに、亀井部会長から本年の事業活動の振り返り（100日の決意）と、会員各位への感謝のお言葉を頂き、伊藤顧問から、青年部あるある話と乾杯のご発声で宴が始まりました。

途中新入会員の皆様から自己紹介があり、積極的な名刺交換が行われ、会員間の交流を深めることができました。

本年のアトラクションは、租税教室で使用している皆様おなじみの1億円ジュラルミンケースの重量当てクイズでした。2kgのダンベルは参考になりましたでしょうか？惜しくも外れてしまった方は、来年の租税教室でリベンジされてはいかがでしょうか。

最後は、山路直前会長のにこやかな笑顔で締めのご挨拶を頂きました。

皆様のおかげをもちまして、和気藹々な雰囲気の中、素晴らしい忘年会となりました。ありがとうございました。

## 会員拡大

**新しく、(公社)津法人会青年部会に入会される方を紹介下さい!!**

青年の持つフレッシュな感覚と行動をもってお互いに啓発と親睦を図り「経営基盤の確立」と「後継者づくり」が大きな目的です。

**50才までの方であれば会社の役員、従業員、男女等問いません。**

●会費…年額6,000円 詳しくはお近くの青年部会役員か事務局へお問い合わせ下さい。

事務局／津市広明町121 津税理士会館4階 TEL 059-225-1302 FAX 059-227-6085

<http://www1.mint.or.jp/~hojinkai/> E-mail:hojinkai@mint.or.jp

# 租税教育活動報告

## 租税教室 in 「ジュニアエコノミーカレッジ in 津」 ～津商工会議所青年部とのコラボ企画～

平成30年9月1日に租税教育の一環として、津商工会議所青年部主催のジュニアエコノミーカレッジin津において、租税教室を開催しました。

子供たちが販売実戦で得た利益から税金を払う（津市に寄付）プログラムがあることから、ここ数年は毎年コラボさせていただいており、短い時間の中ですが、身近なところに使われている税金の紹介や税金クイズ、そして恒例の1億円登場の後は、税金の種類や使い道の決め方など中身の濃い内容であり、今年も子供たちに税の大切さを知ってもらう良い機会となりました。



〔 ジュニアエコノミーカレッジとは、津市内小学5・6年生を対象とし、模擬株式会社を設立し、ドリームプラン（事業計画書）を作成したうえで出資金を集め、チームで商品の開発・製作・仕入れをします。帳簿のつけ方やビジネスマナーを学び、その後販売の実践・決算報告・税金の納付（津市に寄付）をして、商売の仕組みを学ぶ起業体験プログラムです。 〕

### 平成30年度 租税教室 開催日程

・ 津市立高野尾小学校	10月18日(木)
・ 津市立倭小学校	10月22日(月)
・ 津市立新町小学校	11月30日(金)
・ 三重大学教育学部附属小学校	12月11日(火)
・ 津市立明合小学校	12月12日(水)
・ 津市立一身田小学校	12月13日(木)
・ 津市立南が丘小学校	12月18日(火)
・ 津市立成美小学校	1月18日(金)
・ 津市立誠之小学校	1月22日(火)
・ 津市立桃園小学校	2月 6 日(水)

次回、2月6日(水) <13:30~>  
桃園小学校で開催します。

子ども達に税の大切さを  
学んでいただきます。  
講師・シロモチくん役(?)として  
是非ご参加ください。

# 親睦ボウリング大会

日時：平成29年8月3日(木) 18:00～ 場所：津グランドボウル

本会・青年部会共催の「親睦ボウリング大会」が津グランドボウルにて開催されました。参加者64名（うち小人18名）という多数の参加者により盛大に開催されました。

豪華賞品を目指して和やかなムードでスタートしましたが、いつしか本気モードになっている人も数名みえ白熱した戦いが繰り広げられ、各所で歓声が上がりとても盛り上がっていました。

ゲーム終了後の懇親会では東洋軒さんのおいしい料理をいただきながら、会員・家族同士のコミュ

ニケーションが図れたと思います。

表彰式ではたくさんのご協賛により豪華賞品がたくさん配られました。

そして子供達にはお菓子のプレゼントもありました。

今年も大変盛り上がり、素晴らしいイベントとなりました。

来年度もたくさんの方の参加をお待ちしております。



## 平成30年度 新人会員 【4月～12月】

(順不同・敬称略)

1 (株)いのさん農園	岡田孝幸
2 KTS(株)	河戸克昌
3 シェアライズ(株)	横田司
4 (株)八	松田良平
5 日本土建(株)	岡本拓也
6 三重交通(株)	西田幸弘
7 (株)八幡販売	沼田和樹

# いきいきはげみ!

第30回

14年間続けた合気道だったが、足を怪我して辞めた。怪我をする1年ほど前からテコンドーも習っていたが、こちらは今も続いている。

2013年4月6日（土曜）に怪我をした。この日は爆弾低気圧なるものが来ていた。朝から風が強く雨も降っていたが、自身の社長就任祝いを社員にしてもらうことになっていたので、正午前に出掛けた。

17時過ぎに散会になり、皆を送ったあと、タクシー乗場に向かった。途中で濡れたマンホールで滑って、転ばないよう踏張ったら、両足を縦開脚したような形になり、右足首が外側に曲がった。

「折れた」と分かる痛みで、乗場まで左足でケンケンしてタクシーを待った。痛すぎると笑ってしまう癖があり、ニヤニヤしながらタクシーを待っていた。

タクシーが来たのでN病院まで送ってもらった。入口から受付までは再びケンケン。受付で話すと診察時間が終わっているので、救急対応しているD病院に向かって下さいとのこと。迎えの車を待つ時間などもあって、19時過ぎにD病院で診察してもらった。

担当医が居ないということで詳しい症状は分らなかつたが、その頃には紫色に腫れてきており、レントゲンの結果からも手術が必要＆入院と言われ、人生初の入院生活が突然に始つた。

週明けに担当医に診察してもらった。結果、骨折＆靭帯切断＆脱臼＆関節包破れというものだつた。滑っただけでこれか、前厄の年だったので、さすが厄年＆これで終わりにして欲しいと思った。

4日後の4月10日に約2時間の手術をした。骨折は時間で治すことになったが、靭帯はホッチキスのような金具で留め、脱臼した足首を戻すためにボルトを入れ、破れた関節包は縫つてもらった。入院は15日間だった。社長就任直後から欠勤することになり、皆に申し訳なかった。時々、会社から仕事を持ってきてもらったが十分な事は出来ず、

連絡があれば指示をするだけで、休んでいる間は誰かが代わりにやってくれていた。

松葉杖が不要になるまで、医師や看護師、社員や家族に助けてもらうことばかりで、周囲に助けてくれる人が沢山居たことを再認識して、申し訳ないと同時に、ありがたく思った。

周囲の人以外でも、見知らぬ子供にコンビニのドアを開けてもらったり、通りすがりの人に「車で送ろうか」とか声を掛けてもらったり、人の優しさに触れることが多かつた。

入院中、仕事や治療が無いときは本を読んだり、筋トレをしたりした。右足を補って、なお余りある左足にしてやろうと思った。退院後も松葉杖を渡されていたが、左足を鍛えようと、なるべくケンケンで移動した。ピヨンピヨンと動くので、子供にトトロのようだと言われていた。体系的に太つてもいたのだろう。

手術から1か月後にボルトを取出す手術をした。この時は再入院日も決まっており、適度な量の仕事を持ち込む準備が出来た。入院期間も土日を入れて4日間と短く、前回入院時よりは自責の念が少なかつた。

二回目の退院後、リハビリが始つた。今まで、ギプスとボルトをしていたので、足首は固まつていて中々曲がらず、無理に曲げていく治療は笑い出すほど痛かった。右足の筋力も衰えていて、短い歩幅で何度も歩き、階段も数段ずつ登つた。痛みを伴う動作がほとんどだったが、頑張れば頑張つた分だけ早く歩けたり、高い階まで登れたりと、成果が目に見えるのは面白かった。

完治とまではいかないが、6月上旬に松葉杖がとれたので、合気道とテコンドーに復帰した。合気道は右足首が曲がりにくくなつたおかげで、正座と膝行が出来なくなつてついた。この二つの動作が出来ないと座技が出来ない。無理をすれば正座は出来るが、腰が浮いてしまう。出来なくなつたことが増えたので休会して、半年ほど考えて辞めることにした。

蹴り技の多いテコンドーでは、右足が十分に使えない不利かと思って考えるまでもなく辞めようと思っていたが、多用したケンケンのおかげで、

今まで出来なかった技が出来るようになっていた。テコンドーは、片方の足を上げて蹴れる体制をとったまま、もう片方の足で移動することが多い。怪我前はそれが苦手だったのだが、楽に出来るようになっていて、ケンケンは自動的に練習につながっていたのだと気付いた。

怪我前よりも出来ることが少なくなった合気道は辞めたが、出来ることが増えたテコンドーは続けることにした。

テコンドーは韓国が発祥地で、創始者が日本の空手を学んで生まれた。大きく分けると「ITF」と「WTF」という2つの団体がある。元々は一つだったが分裂した。「WTF」は韓国国技であるが、創始者は「ITF」だ。そんなことからも、分裂理由は複雑で詳しくは知らない。

二つの団体で、最も大きな違いは組手時の顔面への手技が許されているかいないかだと思う。「WTF」は禁止されており、試合では手足や胴、頭などに防具を着ける。時間内に多くのポイントを取った方が勝者で、ポイントを取れば一時中断することなどから大きな怪我を防ぎやすく、スポーツ性が高いと言われ、オリンピック種目にもなっている。

顔面への手技がないので、ガードを下げた構えが多い。下げるというより、手での顔面攻撃を準備していないのだろう。蹴りは多彩で連続動作が多い。足のボクシングとも呼ばれている。

「ITF」は顔面への手技が認められており、攻撃は最短距離になる直線での技が多い。身に着ける防具も、「WTF」と比べると少なく、試合時間の間に、どちらかが倒れるか、立ったままのダウンをとられるか、反則をするまで中断しない。倒れても立ち上がるかぎりは続ける。ガードを上げて顔面を攻撃する体制をとりつつ、自身の頭部や顔面をしっかりと守るが、誰かが必ず血を流している。

僕が習っているのは「ITF」の方で、左腕を折られた経験もある。そう言えば腕を折ったのは足を怪我した翌年で、本厄の年だった。足から腕に部位が上がったので、後厄では首か頭を折るだろうと言われていたが何事もなく無事だった。

テコンドーの特徴にサインウェーブというものがある。波のように上下に動き、一つ一つの動作に体重を乗せる。これを使うと手先を動かすにも、足→腰→肩→腕→手先の順になり、大きな力が出せる。併せて呼吸も使う。

合気道は相手との呼吸が大事だったが、テコンドーは自分の呼吸を大事にする。特に息の吐き方を意識する。ゆっくり吐いて力を緩め、素早く吐いて力を入れる。素早く吐くときは切るように、お腹から短く一気に吐く。腹筋が鍛えられるはずだが、練習不足なのか、僕のお腹はダルダルしている。

試合では優勝したこともあるが、いつからか強さとはどういうことかと考えるようになってきた。体重別に分かれた一つのクラスで優勝したとしても、体の大きな別のクラスでは一勝すら出来ないかもしれない。運や誤審で勝つ場合もあるだろう。肉体的な強さ、力の強弱や技の優劣も目標ではあるが、そういうことでは表せない強さとは何だろうかと思うようになっていた。ぼんやりと、何に対しても恐れることなのかなと思っていたが、それは無理だろうし、表現出来なかつたが、それだけではないとも分かっていた。

そんなとき、テコンドーの師範が書いた本に「強さとは、あるべき姿でいること」と載っていた。自分の感情を受け入れつつも、その場・その時・その立場での、相応しい姿になる事。しつくりくる言葉だった。

怒りも恐れも不安も抱えつつ、我慢が必要ならば堪え、声を上げなければならない時には抗う。面倒な気持ちや不安を持ちながらでも事に臨み、無理にでも笑う。どんな心情であれ、自分が正しい姿をとれる事が強さなのと思った。

正しい姿を作るには、正しい倫理観を持ち、自分を客観視し現状を判断することが必要だと思う。色々な武道があるが、それぞれの「武」を通して、そういうことを身に着けていくのが武道なのだと思う。もちろん、武道に限らず身に着ける方法もあると思うが、今後も「武」を通して、自分がどうあるべきかを考え、あるべき姿になるよう挑戦していきたい。